

明日につながる学びと仲間

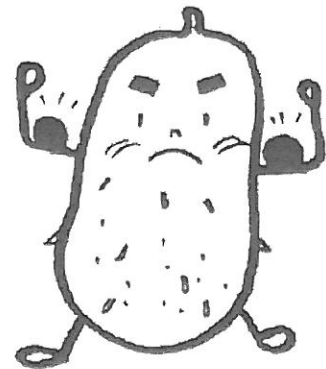
2013 夏期組合学校

6月29日(土)

13:30	14:30	16:15	18:30
13:50	16:00	18:00	20:30
受付	全体会 基調報告 共済学習会	開校講演	休憩
		基礎講座	休憩
			夕食交流会

6月30日(日)

8:30	10:45	12:30
9:00	10:30	12:15
受付	分散会	休憩
	閉校講演	全体会



基本を押さえよう
行動の力にしよう

日時 - 2013年6月29日(土)~30日(日)

13:30~受付 12:30終了

場所 - 東横イン中部国際空港

〒479-0881

常滑市セントレア4-2-5

tel 0569-38-0045

fax 0569-38-0046

アクセス

電車: 名鉄中部国際空港駅より改札を出て左手高速船乗場への連絡通路を通り右側エレベーター 徒歩5分

車: 「セントレア東」IC下車直進500m(中部国際空港で降りないで下さい!右の地図参照) 宿泊者48時間無料

特急電車 名古屋-金山-中部国際

12:50 12:54 13:18 ミュー

13:01 13:05 13:36

13:20 13:24 13:48 ミュー など多数



主催: 全国福祉保育労働組合東海地方本部・東海ブロック協議会

TEL: 052-881-2971 FAX: 052-881-2998

29日(土) 開校講演

「被災地からの声 ～福祉保育の視点から」

お話ししてくれる人：小幡幸拓さん（宮城県保育関係団体連絡会東日本大震災復興支援担当）
佐藤晃子さん（福島県労働組合総連合事務局福島県労連女性部事務局長）



【プロフィール】

小幡幸拓：（おばたゆきひろ）：1976年9月24日宮城県塩釜市生まれ 2002年から10年間京都、仙台で保育士として勤務。東日本大震災後の2012年4月より宮城県保育関係団体連絡会の東日本大震災復興支援担当専従として活動を開始。2013年4月からは、保育士と復興支援担当を兼務し活動を継続している。

佐藤晃子（さとうあきこ）：福島県福島市生まれ。学童保育指導員の夫と3人の子どもとともに福島市渡利在住。高校卒業後、医療生協わたり病院勤務を経て、1999年より福島県労働組合総連合事務局に入局。福島県労連女性部事務局長。ふくしま復興共同センター子どもチーム事務局長。

あすキャンのおかげで、私たちも仲間と共に被災地に心を寄せる取り組みを行うことが出来ました。「あすキャンだけで終わらせない！」今回、呼びかけ人である小幡さん、福島の佐藤さんに来て頂き、福祉保育分野から見た宮城や福島などの被災地の当時の状況～活動してきたこと、現状と課題、思いなどなど…のお話しをしてもらいます。

何かしたいけど何が出来るのかと思いがあぐねる私たちが、これからもできることをみんなで考え取り組むことになげたい、と思います。

29日(土) 基礎講座

あなたはどの基礎講座で「基本」力を身につけますか？

①「財務諸表を読み解こう」 講義編

講師：小山道雄さん（中央副委員長、埼玉県本部執行委員長）

一般的に財務諸表分析のポイント、目の付け所など講義解説して頂きます。そして「労働組合として、何をどう捉えるか。」「お金があれば要求し、なければ要求しないのか?!そこをどう考えるのか?」←「『要求』とは何か?」にも触れながら…、解説して頂きます。

②「労働組合の基礎知識」

講師：森田茂弁護士（第一法律事務所、福保労東海地本顧問弁護士）

3月の職場代表者会議で森田先生に来て頂き、そこで、私たち労働組合が「労働組合の基本的知識（権利・力）」をきちんと把握して、労働者がもっと頑張れるようにする課題が明確になりました。若い組合員が急激に増え、労働組合の本質が伝わらないまま活動だけに振り回されている実態があり、自分たちの職場の働くルールや権利も知らずにいる状況があります。

「労働組合は法で守られていること」「労使は対等平等であること」「自分たちが持っている権利を知って行使しなければそれは無いのと同じであること」「就業規則など知らないで要求討議もできないでしょう?ということ」等々、『基本』の基の字からわかりやすくお話しして頂くので、一年目の組合員でも安心して参加できます。仲間と共に学びましょう。

30 (日) 基礎講座・分散会

①「財務諸表を読み解こう」 実技編

講師：小山道雄さん（中央副委員長、埼玉県本部執行委員長）

29日に学んだ財務諸表分析で、実際自分の施設の財務諸表を分析してみましょう。

わからなくなったら優しい小山講師が指導してくれます。

*この基礎講座参加希望者は事前に自分の施設の**財務3表**を地本に持って来て下さい。

- ・貸借対照表
- ・事業活動収支計算書
- ・資金収支計算書

②「労働組合の基礎知識」→分散会へ

青年、臨パ、健康でそれぞれ分かれて思いを出し合おう！

A「青年」

B「臨パ」

C「健康」

労働組合の持っている力や権利を知った上で、それぞれの専門部で活かしながら活動をつくって行く交流をしましょう。



③「The 実践」（予定）

実技指導講師：さて、誰かな？お楽しみに

手品や一芸を学んで身につけて帰りましょう。明日からの実践に即つながるかも！

30 (日) 閉校講演

「憲法を守ることの歴史的意義と未来への責任」

講師：長峯信彦さん（愛知大学教授）

今、憲法は戦後最大の危機にさらされています。

私たち、福祉保育労働関係でいえば、国・自治体の制度切り下げや市場化で、働き続けること自体かなり厳しい実態があり、憲法 25 条の実践・具現化という福祉保育労働の本質が見えにくくなっているのに、これで自民党草案のような憲法になってしまったら、「人権」の尊厳など無く、「権利としての社会保障」はないものになってしまいます。

私たちは生き生きと働き続けたい。そういう職場作りをして、誇りを持った福祉保育労働者でいたい。そのためには、戦争はあってはいけない。国防軍なんてとんでもない。基本的人権は保障されなければいけない。社会保障は国が国民に人権として保障するもの。憲法は国家権力を縛るもの。憲法を守ることは未来への責任。そんな「憲法」のあれこれを、わかりやすくお話して頂きます。



【プロフィール】

1965年名古屋生まれ、名古屋育ち。愛知大学法学部教授。専門は憲法学。近年は、改憲論に対する批判的講演や（いわゆる）“慰安婦”問題など「国家の道義と倫理」に関する講演、など多数。趣味はヴァイオリン演奏。大学生の時に早稲田大学オーケストラにて、ウィーン・ムジークフェラインやカーネギーホールなど欧米で演奏。

